

---

# DECADE in Super Sentai World

あずにゃん & ディケイド L O V E

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

DECADE in Super Sentai World

### 【Nコード】

N0625M

### 【作者名】

あずにゃん&ディケイドLOVE

### 【あらすじ】

士達は再びライダーのいない世界を旅することになる・・・ガオレンジャーからゴセイジャーまでの、ライダーのいない世界で士が見たものとは・・・

## 第1話 ガオレンジャーの世界（前書き）

初心者なので誤字脱字などあるかもしれませんがwww

また原作と違うところや、話し方の違う方も出てくるかもです。

そのときはディケイド特有の平行ルと思ってください。まあ基本オリジナルの世界のつもりで書いていきますが・・・



背景には数十匹はいる、機械のような動物達の絵が描かれていた・

夏海「動物園・・・ですか？」

士「馬鹿・・・そんなところに行つてどうする・・・」

ユウスケ「なんかこの動物達、メカっぽくてカッコイイなあ！」

士「（・・・シンケンジャーの世界の背景と似ているな・・・まさかまたライダーがいない世界か？）よし！考えても仕方が無い・・・外へ出るぞ」

栄次郎「皆、いつてらっしゃい」

栄次郎は3人を見送った

ガチャッ

士達は外へ出る・・・が、何やら様子がおかしい・・・

士「・・・どこだ・・・ここ・・・」

ユウスケ「洞窟・・・か？」

何やら一面白い岩で作られたような部屋に出てきてしまった

夏海「なんか・・・今度の世界は異常に狭いですね・・・」

士「そんな訳ないだろ、夏みかん！どこか出られるところがあるはずだ・・・」

と、そこでユウスケが何かを見つけた

ユウスケ「おーい！この水なんだと思う？」

そこには水の貯められたとても小さな泉のような物があつた

ユウスケは不思議そうに覗き込む

士「ああ？そんなもの放っておけ！今はこっから出るのが先だ」

ゴボゴボゴボ！！

と、急にユウスケの覗き込んでいる泉の水がゴボゴボとし始めた

ユウスケ「うわああああああ！！！！！！」

ユウスケはびっくりして土の後ろに隠れる

士「何ビビッてるんだ・・・まったく・・・」

夏海「・・・！誰か来ます！！」

士達は急いで物陰に隠れる

タッタッタッタ

？「皆！！オルグ反応よ！！・・・って違う？・・・この反応は・

・  
」

真っ白い神秘的な衣装を身に着けた美しい女性がやってきた

何やらかなり慌てている

タタタタタタタ

？「テトム！！オルグか？」

？「何だよ・・・せつかく昼寝してたのに・・・」

？「ほら！シャキツとする！！」

？「おし！！んじゃ行くか！！」

？「よっしゃ！ネバギバだ！」

？「皆、準備しろ！」

反対側から慌ただしく、色とりどりの服を着た男女6人組がやってきた

テトムと呼ばれた女性は、血相を変えて彼らに説明する

テトム「皆、落ち着いて聞いて・・・この前この泉に「鳴滝」って人が現れて言ったでしょ・・・『いづれ世界の破壊者がこの世界に現れる・・・名はディケイド・・・この世界も全て破壊される・・・くれぐれも気をつけるように・・・』って・・・ついに来たわ・・・場所は・・・！！嘘？ガオズロックの中だわ！！」

士、夏海、ユウスケ「！」

？「う、嘘だろ！？ど、どこだ！！」

？「落ち着けレッド！・・・・・・そこにいるんだろ・・・・」

銀の服を着た男に、士達はすぐに見破られてしまった

士「まったくまたか！鳴滝のやつ・・・・」

ユウスケ「おい！どうすんだ士！」

夏海「あ、あの皆さん！私達は・・・・」

？「何だ・・・・普通の人間じゃないですか！もっとおぞましい者だと・・・・」

テトム「いいえ・・・・鳴滝って人によると、彼らも姿を変えるらしいのよ・・・・」

ブラック「マジすか！？」

レッド「テトム！ここじゃ危険だ、どこか別な場所にガオズロツクを！いくぞ！イエロー、ブルー、ブラック、ホワイト、シルバー！」

ガオズロツクは速度を上げ、どこかの荒野に着地した

イエロー「ほら！！来い！！」



ユウスケ「え？え？ちよつと！！」

士「おい！離せ！！」

夏海「私達の話聞いてください！！」

ブル「あなたも破壊者の仲間ですか・・・残念だなあ」

士達はガオズロックの外につまみ出された

シルバー「お前か！世界の破壊者つてのは・・・」

士「そうは呼ばれてるが・・・お前らが勝手に勘違いしてるだけだ！！」

ユウスケ「そうだ！！士は破壊者なんかじゃない！！」

レッド「皆！いくぞ！」

5人「おお！！」

士「話くらい聞け！！」

6人「ガオアクセス！！」

6人は携帯のようなものを取り出し、ボタンを押して叫ぶ

6人「ハア！！」

そして耳にそれを当てながら左手を前に突き出す

6人「Summon Spirit of the Earth  
！！」

6人はそう掛け声を放つ・・・

するとシルバー以外の5人が持っている、黄色の携帯端末が動物を模した形に、そして人型へと変形した

シルバーもまた違う携帯端末を持っていた

白銀の狼を模していて、5人が持っているものとは別のタイプのものらしい

それぞれの携帯端末のイメージが装着者に重なり、スーツを形成した

最後にそれぞれの動物達のイメージが顔に重なり、マスクを形成した

ユウスケ「え？こ、これどゆこと！？」

夏海「まさか・・・ここも・・・」

士「ああ・・・ライダーのいない・・・スーパー戦隊の世界だ・・・」

レッド「灼熱の獅子！！ガオレッド！！」

イエロー「孤高の荒鷲！！ガオイエロー！！」

ブルー「怒涛の鯨！！ガオブルー！！」

ブラック「鋼の猛牛！！ガオブラック！！」

ホワイト「麗しの白虎！！ガオホワイト！！」

シルバー「閃烈の銀狼！！ガオシルバー！！」

レッド「命あるところ・・・正義の雄叫びあり！！百獣戦隊！！」

6人「ガオレンジャー！！！！」

ガオレンジャーと名乗る6人、それぞれのマスクは、ライオン、鷲、鯨、牛、虎、狼を模している

服の色と、スーツの色がかぶっている

彼らは普段から、自分のカラーで呼ばれているらしい・・・

一種のコードネームのようなものだろうか・・・

ユウスケ「今度はガオレンジャーかぁ・・・パワー溢れる感じがかっこいいなぁ・・・」

夏海「感心してる場合じゃないです！！あの人達は私達を破壊者だと思ってるんですよ！」

？「つかさつ　僕も混ぜてくれるかい？あいつらのお宝が欲し

いんだ」

どこからともなく、海東　大樹がやってきた

士「海東！！お前今度は何を盗むつもりだ？」

海東「あいつらの持つてる“獣皇剣”と“ガオの宝珠”だ！あれがあれば“パワーアニマル”を呼び出せるんだよ！すごいと思わない！？」

士「何のことだかさっぱりだ・・・海東、お前もあいつらを落착かせるの手伝え」

海東「無論そのつもりだよ・・・さあお宝はいただくよ！」

ホワイト「あいつもディケイドの仲間？」

シルバー「どうやらそうらしいな・・・」

士「行くぞ！ユウスケ！」

ユウスケ「おう！」

夏海「士君！ユウスケ！大樹さん！やめてください！！」

士「大丈夫だ夏みかん！少しこいつらの力を見るだけだ」

イエロー「おい！！ごちゃごちゃ言っでないで来い！！」

士「言われなくても分かってる！！！」

士は腰にディケイドライバーを装着した

それに続きユウスケは腹部にアークルを出現させ、海東はディエンドライバーをクルツとまわしカードを装填する準備をした

3人は一斉に言葉を発する

3人「変身!!」

士はディケイドライバーにカードを装填、バツクルを回転させる

ユウスケはポーズを決めた後、左腰にあるボタンを押す

海東はディエンドライバーにカードを装填、銃身を前にスライドさせ、トリガーを引く

? K A M E N    R I D E    D E C A D E ! ! ?

? K A M E N    R I D E    D I - E N D ! ! ?

ディケイドライバーとディエンドライバーから電子音が鳴り、士と海東の体を変化させた

ユウスケも体が赤く変化した

士はマゼンタを基調とした戦士に、海東はシアンを基調とした戦士に、クウガは赤を基調とした戦士に姿が変わっていた

D C D 「おし!! 分かれて戦うぞ!!」

クウガ「OK!」

DED「お宝お宝」

世界の破壊者 仮面ライダー デイクライド

トレジャーハンター 仮面ライダー デイエンド

古代の戦士 仮面ライダー クウガ

ライダーが存在するはずのない世界に、3人もライダーが現れた

この世界も悪魔によって破壊される……

遠くから見ていた鳴滝はそう呟いた……

レッド「ハア！オリヤ！」

DCD「そんなパンチ全然きかねえな！！ハッ！！」

ドガッ！！

デイクライドは渾身の蹴りを浴びせる

レッド「ならこれならどうだ！！ハアアアア！！！！！！」

レッドは負けじと爪で攻撃する

ズバァー!!ズバァー!!ズシャァァー!!

DCD「うあっ!!・・・爪生やすのありがよ!!クソッ!ならこっちは剣だ!」

ディケイドはライドブッカーをソードモードに切り替え反撃する

? ATTACK RIDE SLASH!!?

キイン!!カァァン!!

レッド「あつぶね、やるな!獣皇剣!!ハッ!!」

レッドは獣皇剣でディケイドに

キン!キン!カァン!!

DCD「フン!そんな短きゃ届かないぜ!!ハアッ!!」

ガァァァン!!!!

レッド「うわあああ!!!!」

レッドはディケイドに弾き飛ばされた

DCD「行くぞ!」

ディケイドはカードを装填する

? FINAL ATTACK RIDE DE DE DE D  
ECADE!!?

ディケイドの目前からレッドへ向かって複数のホログラムカード  
が現れる

DCD「ハアアアアアアアアア!!!!!!!!」

ダダダダダダダダ!!

ディケイドはものすごい勢いでホログラムの中を突き進む・・・

ライドブッカーにエネルギーが溜まる・・・

エネルギーが溜まり、マゼンタカラーに神々しく輝く剣先がレッ  
ドを切り裂・・・

ガアアアン!!!

レッド「ライオンファング!!」

DCD「何!?!」

レッドは寸でところでライオンファングで防いでいた

DCD「ちっ!ならこれだ!」

? KAMEN RIDE FAIZ!!?



ディケイドの姿がファイズに変わる

? A T T A C K    R I D E    F A I Z S H O T ! ! ?

? F I N A L    A T T A C K    R I D E    F A    F A    F A    F  
A I Z ! ! ?

ファイズショットがディケイドの手に装備され、エネルギーが充填される

レッドもライオンフングにエネルギーを充填する

D C D ファイズ「てやあああああ!!!!!!」

レッド「ブレイジングファイアアア!!!!!!」

ドオオオオオオオオ!!!!!!



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0625m/>

---

DECADE in Super Sentai World

2010年10月10日14時02分発行